

図書館だより

1学期号 丹原高校図書委員会

新年度が始まって、コロナのため、なかなか発行できませんでした。渾身の1学期号です。図書館にあるよ♡興味がわいた人は探しに来てね❀

○青少年読書感想文全国コンクール課題図書発表



『廉太郎ノオト』 谷津矢車 著
ライバル、友人、恩師に導かれ、瀧廉太郎は日本に西洋音楽を響かせることを夢みる――。明治時代を駆け抜けた天才音楽家の甘く苦い青春小説。

『フラミンゴボーイ』

マイケル・モーパーゴ 著
ゴッホの絵に導かれて南仏を訪れた青年が遭遇したのは、第2次世界大戦末期、フラミンゴと話ができる少年とロマの少女の感動物語だった。



『キャパとゲルダ：
ふたりの戦場カメラマン』
マーク・アロンソン 著
マリナ・ブドーズ 著
生きるために...二人のカメラマンは戦場に向かった。夢と理想を支えに、革命の前線に身を投じた若き二人の青春ドキュメンタリー。

「聞く力 心をひらく35のヒント」 作者 阿川 佐和子

この本は作者の経験を交えてコミュニケーションのつけ方について書いている本です。いろいろな有名人をまじえて書いている本なので新書を読むのに慣れてない人でも簡単に読むことができますのでおすすめです。今の時代はコミュニケーションの力が求められているのでみなさんぜひ手に取ってみてください。 <3-3図書委員より>



『英国一家 日本を食べる』 作者 マイケル・ブース

フードジャーナリストである著者、マイケルブースとその家族が日本各地を回り日本の料理を食べつくす!知れば知るほど奥の深いダシの文化や、回転寿司から高級店まで日本人になじみの深い寿司。その寿司の知られざる歴史など、外国人らしさ満載の表現でつづっています。NHKでアニメ化もされたこの作品。面白いと思ったらぜひ読んでみてください。 <3-3図書委員より>

購入予定です。他にも購入して欲しい本がありましたら、図書委員まで。

『また、同じ夢を見ていた』 作者 住野よる

きっと誰にでも「やり直したい」ことがある。
学校に友達のいない“私”が出会ったのは、手首に傷がある
“南さん”とても格好いい“アバズレさん”一人暮らしの“おば
あちゃん”そして、尻尾の短い“彼女”だった。

「幸せとは何か」を深く考えさせてくれる物語です。

「人生とは、自分で書いた物語だ。」

「推敲と添削、自分次第でハッピーエンドに書きかえられる。」

本文より一部抜粋
<3年2組図書委員>



『たとえ明日、世界が滅びても
今日、僕はリンゴの木を植える』

作者 瀧森 古都

笑えなくなっていた主人公が親に置いて行かれた少女と出会い親を探して
いくなかで自分の過去についてなぜそ
うなったか知っていき笑えるように変
わっていく様子が書かれた考えさせら
れる作品です。<3-4 図書委員より>

『星に願いを、君に祈りと傷を』 作者 清水晴木

「私は、早くベテルギウスが爆発してほしいと思っている
よ___。」

流星群が降る夜、高校2年の屋敷は双葉と出会った。顔に
大きな傷を持ち、だけど凜として、星と夜が好きだと話す彼
女。流れ星が見たい、というのと同じくらい純粋な気持ちで、
双葉の笑顔が見たいと思った。でも、この時の僕は双葉の笑
顔を奪ったのが自分だなんて、思いもしていなかった。

星が衝突するように恋に落ちた。双葉の傷を、傷ついた過
去を、消したいと何度も願った。流れ星のように煌めく一瞬
の青春物語。 <3-4 図書委員より>



図書委員会からのお知らせ

7月15日(水)~7月22日(水)の2週間は、朝
読書週間です。SHR時に必ず本(漫画本・雑誌を除く)を読
もうという期間です。この機会にお気に入りの一冊を見つ
けてみませんか?ぜひ、図書館にGo!!